
カルディラント王国物語設定集

杉崎遥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カルディラント王国物語設定集

【コード】

N9119H

【作者名】

杉崎遥

【あらすじ】

カルディラント物語の設定資料です。知りたい人のために置いてみた。こういうものが好きではない人は回れ右〜。

はじめに

これはカルディラント王国物語の設定です。

こんなものなくても分かるように書いていますつもりですが（後で明かされる場合もあるし）、まあ戯れにあってもいいかな的な・・・

もちろん見る見ないはお任せです！

王国の地理と産業と街

地理

王国の西側と北側は海に面し、東から南にかけてはグレイツ山脈がある。

国土面積は狭くもなく広くもなく、といったところ。

もっとも大きな川はベイル川で、源流は南にあるレクトナ山。湖はないが、西南に温泉がいくつか存在する。

気候

暑いときは暑い（最高30度くらい）が、寒いときはものすごく寒い（氷点下10度くらいはいくようだ）。

やや乾燥ぎみ（日本と比べて（^^;）だが、冬にはしっかりと雪が降る。

西側の海には暖流が流れているので、この海沿いは比較的温暖。

産業

貴金属や宝石を多く産出するため、その加工が盛んで技術も発達している。

もちろん輸出もされており、各国から高い評価を得ている。

農業と畜産

山がちでもなく平坦な土地が広がっているが、土壌はあまり肥沃ではなく作物が実りにくい。

食料は輸入に頼ってきた歴史がある。

畜産はぽつぽつと、自足できる範囲といったところか。

主要な街

首都レスター

人口は約6万人。中央に王城がある。

宗教都市イスベール

小さな町だが、この世界で最も信仰されている宗教（名前決まっていない・・・）の発祥の地で、その中心となる大神殿と神官を養成する神殿学校がある。それ以外に学校はなく、住人も神殿関係者がほとんどなので宗教都市と呼ばれている。海外からの巡礼者も度々訪れる。そのため比較的人口は多く3万人が住む。海に面しているため夏と冬の気温差が緩やかな気候。特に冬が温暖なため、レイドは幼少期にこの町に移って療養していた。

神殿薬草園

大神殿の一角にある薬草園。昔は神殿が医療の一端を担っていたため、このような施設がある。

アルセ

首都レスターの隣町。農業と畜産に力を入れている。人口1万人。フェルザン伯爵領。

フィリエ

海を越える人や物の窓口っていつのかなとなる港町。人口3万人。貿易が盛んだが、漁業も盛んである。名物は魚料理。海を挟んだ向かいに位置するのがレイズファリア王国となる。レイノール公爵領。

以下思いついたら増えるかな？（笑）

王国の歴史と文化

建国

650年前にユーリス・カルディアによって建国。王室はその血筋につながるもの（とされている）。国名のカルディラントとは、カルディアの国という意味である。

現時点では事実だと確認できていない。

戦歴

建国時には戦争があつたはず。というほど戦争に縁がない。王も飢えるような土地を欲しがる国などないし、それ故に注目する国もなかった。そうして忘れられている間に大神殿が生まれ、それが周辺の国に広がるにつれて聖地として尊敬され不可侵になった。今ではさすがにそこまで神聖視されていないが、きらびやかな宮廷文化が開いて”豊かな他国を奪えばいい”的な思想自体が廃れたため、平和な国になっている。

流行病による人口減

聖ロディウス歴380年、王都周辺で熱病が大流行。一定年齢以上の人には家族や友人を一人も亡くしていない人がいないほど猛威を振るい、国民の約二割から三割が命を落とした。レイドの兄弟3名も亡くなっている。

一番体の弱いレイドが無事だったのは、当時既に療養のためイスベールに移住していたので感染しなかった。

人種

いわゆる白人系。褐色く金の髪と色とりどりの瞳を持つが、黒髪黒瞳は外国人のもの。

王宮侍医ルネ・ウインスレーも純粋なカルディラント人ではない。

国民性

のんびり穏やかなでありながら努力家で、職人的な気質がある。この時代のこの世界では珍しく義務教育制度があるため、総じて教養が高い。

宗教

豊穡の女神イデイスを信仰している。実りに恵まれない土地柄から豊穡の神にすがったことを起源とし、その基本的な思想は「人を妬まず、恨まず、努力せよ」という一言に集約できるだろう。神官はこのように語る「妬みは墮落の証である。努力しない時ほど、人は自分より恵まれた人を妬むからだ。しかし神は墮落した者を救うことはない」

これはカルデイラント国民の「職人氣質」にも通じるところがあり、また豊かな実りを持つ他の国を手にいれようとした歴史がないことにも繋がっている。

発祥の地であるイスベールには女神を祀る大神殿と神官を養成する神殿学校があり、それ故に宗教都市と呼ばれている。

信仰はカルデイラントだけでなく諸外国にも広がりを見せているため、神官専用の共通語がある。これが「神殿公用語」で祈祷書や公文書に使用される。しかし非常に難解なため、祈祷書を読み祈るだけで精一杯な神官も存在する。

文化

聖ロディウス暦：イスベールの神官ロディウスが生み出したもの。いわゆる太陽暦。英語圏での暦同様 月ではなく名前がありますが、説明面倒なので（爆）作中では私達が使っているものと同じ1月・2月と数字にしています。

馬車：平民用の辻馬車がある程度に普及している。

家：石造り

道路：石畳が基本（田舎は舗装されていない）

紙：一般人も触れる程度に普及している。原料はその辺の木など。ただし神官が持つ聖典や祈祷書、高級な本には羊皮紙が使われている。

羊皮紙の本：当然全て手書きで装飾性が高い芸術品。一般人はその存在も知らない。ちなみに製作しているのはカルディラント国内では主にイスベール（神殿で作られているから）。

医療：もともとこれらは神の領域であるため神殿を擁するこの国は周辺諸国より発達していたが、ルネが来たことでさらにレベルアップしており、今はこの周辺では最高峰の医療技術があると言っている。

香茶：「ハーブティ　紅茶はまだない時代。

身分制と名前

平民は名・姓のダブルワード、貴族はその間に言葉が入っているトリプルワードの名前。

この「間の言葉」は、貴族の姓が「　町の「××さん」という意味「領主だったため、その「」の意味するドウ、デイ、エイルなどであった。しかし現在では貴族「領主でもないし、町の名前が変わった所もあるので姓」地名でもない。ただ貴族は姓名の間に何かついてます、平民には何もついていません、という習慣になっているだけである。

ミドルネームとしなかったのは、少し意味合いが異なっているため。

ちなみに・・・

王家の場合は姓というより称号なので、

レイド・フィン・フロイセル・カルディラント・・・フィン以下で「カルディラントの王」の意。

日本の常識では各爵位に上下関係がありますが（伯爵は侯爵より位が高いとか）、爵位の本家（？）ヨーロッパにはない概念。ということでもカルディラントもそれに倣っています。ちなみに王にならなかつた王子や（滅多にありませんが）引退した王は公爵になります（王女は大体どこかに嫁ぎます）が、他の公爵と違ってその所領は小規模になります。

政治体制

宰相と十人の評議員の議論の上、国王の決定で政策がなされる。

宰相は財務室（国庫を預かっている所）の責任者で、国王が任命権を持つ。

評議員はカルディラントを十の区域に分けた範囲内の爵位ある者で、辞める者の助言と推薦から国王が任命する。

ただしいずれも、不正が発覚するか死去しない限り国王が変わつただけで下ろされることはない。

宰相と国王秘書官

第1章 - 1 や第4章 - 1 の執務室に、なぜ宰相がいるのか？

宰相は国王にとっては辞書的な扱い、求められれば助言する立場にあるから。

国王秘書官も評議員との会議の場にも書記として参加しているので（宰相は議長役）、何一つ知らない・分からないということはないし意見を求められることもないわけではないが、あくまで雑務係であつて立場が違います。

王国の学制

学制

義務教育は5歳から14歳までで有料。しかし金持ちしか行けないほど高くない。

選択分岐型の学校体系をとる。

初級・中級・総合・技術は全ての町に一つはある。初級と技術は私立有。医薬も私立有り。他は王立。

イスベールは神殿学校以外の学校がない。

学校の種類

作中では漢字しか出していません（^^）；

初級学校^{トライエ}・・・3年 全員が通う。読み書きとそろばん、じゃなくて算数を習う。

中級学校^{グライム}・・・3年 「ほとんど」全員が通う（全員でない理由は後述）。コミュニケーションを重視した言語教育が中心。簡単な天文学と音楽も学ぶ。大昔はここまでが義務だった。言葉と計算と天気は生活に最低限必要なものだから。

総合中学^{リゼル}・・・4年 進学予備軍。天文学、幾何学と外国語を学ぶ。
技術学校^{プロテック}・・・4年 土木とか建築とか工芸とか、希望する職の基礎を学ぶ。いきなり親方に入門！はしない（笑）。入学要件は中級学校卒業。

>ここまでは義務教育で通える学校。

上級学校^{エルゼット}・・・3年 文法、修辞学、論理学、高等数学を学ぶ。総合中学卒業が入学要件。進学予備校。

語学学校・・・6年以上 主要な都市にしかない。近隣諸国の言葉を学ぶ。通訳を目指す人向け。総合中学卒業が入学要件。

王立医薬学院・・・6年以上 レスターにしかない。医師薬師の卵

はここに通う。上級学校卒業が入学要件。
王立法律学校・・・6年以上 レスターにしかない。過去の判例とともに法律を学ぶ。上級学校卒業が入学要件。法務官を初め官吏志望者が多い。

(別格) 神殿学校・・・12年以上 イスベールにしかない。神官養成所。初級学校卒業が入学要件。特殊なので内容等後述。

法務官とは・・・領内で起きたもめ事や犯罪は領主が裁くが、裁けないものは法務官へ送られる。それでもダメなものは国王裁決になる(要するに「王様の言うとおり」)。

主な進学経路

家庭の事情や個人の能力や希望で好きな進路を選ぶ。

初級 中級 総合 技術/現在はこのパターンが最も一般的。
初級 中級 技術/かつてはこのパターンが一般的だったが、今はほとんどない。

初級 神殿学校/神官を目指す者は大抵中級学校を経由する。

初級 中級 神殿学校/神官を目指す者はここ。だいたい神官の息が選ぶらしい。

初級 中級 総合 上級/勉強が好きな人向け。シエルリナはこのパターン。

初級 中級 総合 語学/通訳志望向け。

初級 中級 総合 上級 医薬か法律か語学/志高い者向け。

技術学校は、中級学校卒業以上ならいつでも入学可能。

神殿学校とは

人々を教導くのに必要なため、中級学校から上級学校で学ぶほとんどすべての学問、つまり幾何学・天文学・音楽・修辞学・文法・

論理学と神殿公用語を学ぶことができる。

ただ元々神殿を中心に発達してきた天文学・修辞学については他の学校より数段レベルが高い（特に天文学：暦を作るぐらいです）。

在学期間は初級学校卒業後からなら最短12年。それ以上の学校を経由している場合は中途編入となり期間が短縮されるが、7年以下にはならない（医薬・法律卒業後からでも入学可能。そんな人いませんが）。

そのうち最後の2年は、神官としての修行のため神殿で働くことになっっている（給料が出る）。

この国では唯一寮ありの学校。

レイドは通学組（イスベールに住んでたから）

上級学校までの学問を時にはより高いレベルで修めているため、ここを卒業すると上級学校卒業相当になる。よって医薬学院・法律学校とも進学することが（理論上では）できる。ただ神官になりたくて来ている人ばかりなので、本当に進学したのはティエリスぐらいである。

なんでこの科目を？

中級学校の「音楽」 みたいな・・・ 情操教育

総合中学の「天文学」 教養として。 「外国語」 貿易が盛んだから。使わないで済む人も多い。

おまけ

レイド・シエルリナ・ティエリスの進路は・・・といえますと。

レイド（初級中退 神殿中退）

初級学校は中退もなにも・・・体調が悪くて一度も通っていない。その分は自学でカバーしている。

15歳からは国王として仕事をしなければならなくなったため、

神殿学校も退学。

神殿公用語は読み書きともに不自由しないが、修行をしていないので神官にはなれない（もし神官になるなら、途中編入で修行になる）

シエルリナ（初級 中級 総合 上級 ？）

王族は全員上級までは通う（レイドは特別）。その先のことはわからない。たぶん語学を目指す？

テイエリス（初級 神殿 法律）

神殿学校時代の9歳のときに唯一の家族だった父を事故で亡くすが、神殿学校も法律学校も給費生なので学費ゼロ。

ちなみに語学は神殿公用語以外は独学。

レイドの自学でカバーってますごい天才！と思う？いえいえ、小学校低学年レベルです・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9119h/>

カルディラント王国物語設定集

2011年11月13日11時50分発行